

としょかん

# 図書館まつりにきませんか

## ■楽しいカスパークシアター

日時 10月26日(土) 10:00~11:00

会場 図書館本館1階おはなしのへや

内容 カスパークという男の子が主人公の人形劇と手遊び、絵本の読み聞かせ

定員 15人(先着順) 申込 当日直接会場へ



## ■図書館横断クイズ「キャプテン ストーンに挑戦！」

日時 10月26日(土)

低学年(1~3年) / ①13:00~14:00、②13:20~14:20

高学年(4~6年) / ③14:40~15:40、④16:00~17:00

会場 図書館本館 対象 小学生各回5人(先着順)

内容 仲間と協力してクイズを解いて、宝物をGETするゲーム

申込 10/1(火)から電話で図書館本館(773-8521)へ



## ■ガラスペン体験会〜クリスマス・メッセージカードを作る〜

日時 11月10日(日) ①9:30~10:30、②11:00~12:00

会場 図書館大石分館集会室

対象 小学生以上の人(1~3年生は保護者同伴) 各回14人(先着順)

内容 ガラスペンを使って、クリスマスカード・メッセージカードを作る

申込 10/8(火)から電話で図書館本館(773-8521)へ

## ■講演会「多様な子どもたちの読書について」〈大人向け〉

日時 11月16日(土) 10:00~12:00

会場 図書館本館集会室 対象 40人(先着順)

講師 専修大学文学部教授/一般社団法人日本子どもの本研究会会長

野口武悟さん

申込 10/1(火)から電話で図書館本館(773-8521)へ

みんなのとしょかん

# こどもしつだより

No. 258

あげおしとしょかん

〒362-0037 上尾市上町1-7-1



## らいねん しょうわ ねん 来年は「昭和100年」



来年は、昭和元年から数えると100年目、「昭和100年」です。

昭和時代の歌謡曲は、SNSなどを通じて現代の若者世代にも支持

されていますね。

子供たちにとっては「昔」である昭和も、実は現代の子供たちに大きな影響を与えています。

テレビアニメや特撮ヒーローが生まれ、大人もびっくりするような質の高いおもちゃや、さまざまなお菓子が生まれた時代。

「昭和時代」をテーマに、いろいろな本を集めてみました。





# らいねん しょうわ ねん 来年は「昭和100年」



## 「しょうぼうじどうしゃ じぶた」 渡辺 茂男/さく 山本 忠敏/え

福音館書店 (Eシ)



ある町の消防署には、はしご車ののっぽくん、高圧車のぱんぷくん、救急車のいちもくさんがいます。火事があれば3台そろって大活やくするけれど、もう1台、ちびっこ消防車のじぶたは、みんなから相手にされません。ところが山小屋で火事があり……。上尾市で活やくした消防車が絵のモデルです。



## 「100年見つめてきました」吉野 芳理子/作 川上 和生/絵 講談社 (Fヨシ)

子どもたちを空の世界へと誘う楽しい遊具として、昭和4年に生まれた「飛行塔」。戦前・戦中・戦後と、高い山のとっぺんから色々なものを見届けてきました。奈良県の生駒山上遊園地の「飛行塔」が語る歴史ファンタジーです。



## 「ほくのつくえはほくのくに」 佐藤 さとる/作 村上 勉/絵

学習研究社 (Fコテ)



きょう道でひろった鳥の羽がまほうの羽だったなんて！まほうの鳥のかおるくんが自分のつくえをなでると、へやはひろい海に、つくえは小島に、いすは大型のヨットにかわりました。ふしぎな世界で王様になったかおるくんとピエロのわるものたいじのはじまりです。

## 「手塚治虫」 (おもしろくてやくにたつ子どもの伝記 16)

角松 俊英/文 ポプラ社 (289)



マンガ700編、アニメーション約60編。これは、昭和最後の年、昭和64年に亡くなった治虫が残した作品の数です。戦争中も医師の勉強を続けている間もペンを離さず、命の大切さを思う気持ちと未来への夢が詰まったマンガを描き続け、マンガを芸術にした手塚治虫の伝記です。



## 「消えゆくくらしのモノ/事典」 岩崎書店編集部/編 岩崎書店 (383)



「これ使っていた！」「流行ったよね」「なつかしい」と図書館員の間でも話題になりました。昭和から平成時代に活躍していたのに最近見かけなくなったモノを通して、社会の変化を探ります。ご家族みんなで楽しんでいただきたい本です。



## 「白ざかり村に戦争がくる」 ファン・ファリアス/著 宇野 和美/訳

堀越 千秋/画 福音館書店 (F9ファ)

1930年代、内戦中のスペイン。片田舎の小さな村、「白ざかり村」にも戦争の影は忍び寄り、じわじわと村人の生活を侵していきます。人びとの日常と、それをこわしてしまう戦争について、考えさせられるお話です。

